



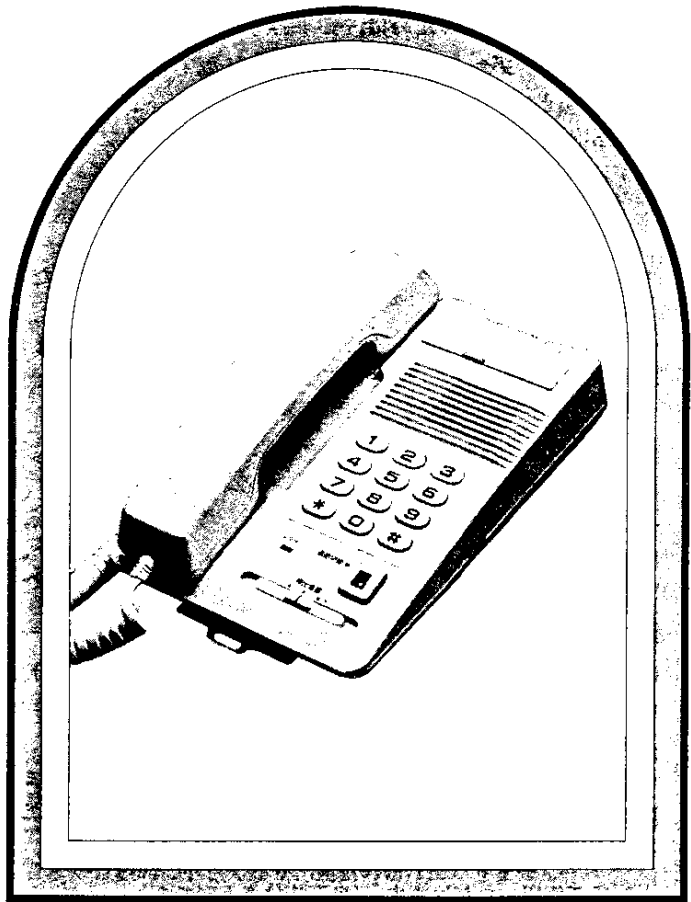
大阪ガス住宅設備

ドアテレホン

取扱説明書

07-300・330型

保証書付



●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

このたびは、大阪ガス住宅設備のドアテレホンをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用にさいしては、加入電話局へ
同封の“端末設備接続（変更）請求書”を提出してください。

07-300	07-330
リダイヤル機能付き	リダイヤル機能/短縮ダイヤル機能付き

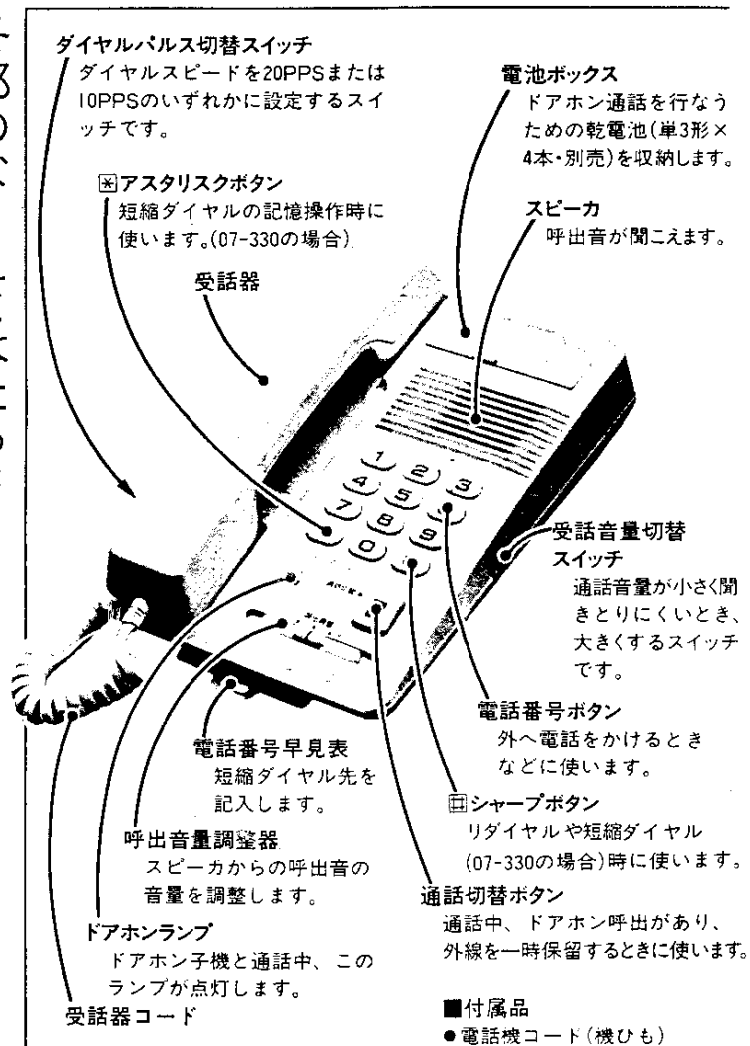
回転ダイヤル式回線および構内自動交換機の端末としてご使用になれます。アウトバルスダイヤル式ですので、そのまま押しボタン発信ができます。

目次

- 各部のなまえとはたらき ■付属品…………… 2
- 注意事項 ■禁止事項 ■ダイヤルスピードの設定について…… 3
- 乾電池の入れかた ■壁掛けとしてお使いのとき…………… 3
- ①電話をかけるとき…………… 4
 - 呼出音量調整 受話音量切替
- ②外からの電話を受けるとき…………… 5
- ③ドアホン通話を行なうとき…………… 6
 - 話中時着信と話中時着信音量自動低減
- ④ドアホン通話中に、外から電話がかかってきたとき…………… 7
- ⑤外線通話中、ドアホン呼出があり、
外線を一時保留するとき…………… 8
- ⑥同じ相手に再度電話をかけるとき（リダイヤル機能）…………… 9
- ⑦短縮ダイヤルで電話をかけるとき…………… 10～12
 - この電話機をPBX（構内自動交換機）の
端末にお使いのとき…………… 13～14
 - ドアホン通話にAC100V電源を使うとき ■停電のとき…………… 15
 - アフタサービスについて ■仕様…………… 16
 - 一目でわかる便利な操作手順早見表…………… 17

■ 各部のなまえとはたらき

各部のなまえとはたらき



■ 注意事項 ■ 禁止事項

■ 注意事項

- 受話器の送話口(マイクロホン)は、口の正面にくるように持ってご使用ください。
- この電話機は、共同電話には接続できません。
- この電話機は差込み式ですから、差込みが不十分であったり、お話し中に差込みを抜いて移動をしますと通話が切れます。

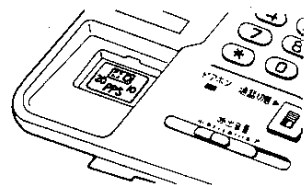
■ 禁止事項(安全のために、必ずお守りください)

- テレビ、ラジオ、コタツ等から2m以上離してご使用ください(雑音防止のため)。
- 電話機の清掃にシンナーなどは絶対に使わないでください。汚れがひどいときは、薄い石けん水(または台所用洗剤を薄めたもの)にやわらかい布を浸し固く絞ってふきとったあと、乾いた布でふいてください。
- 電話機、端子、コネクタ等に水などを絶対にかけないでください。故障の原因となります。
- 使用中は、絶対にコード類を抜かないでください。通話が切れます。

■ ダイヤルスピードの設定について

(回転ダイヤル式回線をご使用の場合)

いまお使いの電話機のダイヤル速度が速い場合は20PPSですので、受話器の送話口受け台下部にあるダイヤルパルス切替スイッチを20側にしてください(出荷時は10側に設定)。



■ 乾電池の入れかた

- ① 電池ボックスのツメを指で押し、溝に指先をあててカバーを開けます。
- ② ボックス内に明記されている⊕⊖の表示どおりに、別売の単3形乾電池4本を正しく入れます。

※はずすときは、乾電池の⊖側を上から押すと簡単に取りはずせます。

■ 壁掛けとしてお使いのとき

別売の壁掛用品(4073000109)をお使いになりますと、壁掛けタイプとしてご使用いただけます。(出荷時は卓上形です。)

電話をかけるとき ①



操作 電話番号

① 受話器を取ります

- 発信音（ツーン）を確かめます。

② 相手の電話番号を押します

相手と通話ができます

通話時の便利な使いかた

外へ電話をかけるとき・受けるとき、次のような便利な使いかたができます。

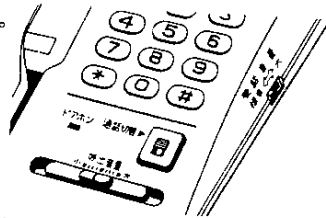
呼出音量調整

部屋の大きさ、環境にあわせて、着信時の呼出音量を変えることができます。右に動かすと大きくなります。

受話音量切替

相手の声が聞きとりにくいときなど、受話音量を大きくすることができます。

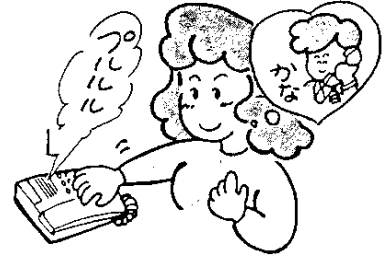
右に動かすと大きくなり、「標準」が普通の音量です。



② 外からの電話を受けるとき

外からの電話を受けるとき

電話機の呼出音はプルルル・プルルルという電子音です。



操作 〈呼出音〉→


① 受話器を取ります

相手と通話ができます

※呼出音（プルルル・プルルル）が小さく聞きとりにくいときには、呼出音量調整器のつまみを「大」にしてください。

ドアホン通話を行なうとき ③

別売のドアホン子機 (07-204) を接続しますと (1台接続可能)、ドアホン通話ができます。

操作 <ドアホン子機からの呼出音>→

来客があり、ドアホン子機の呼出ボタンを押しますと、スピーカからチャイム音(ピンポン)が聞こえます

- ドアホン子機にも小さなチャイム音が鳴り、呼出していることを確認できます。

① 受話器を取ります

ドアホン子機と通話ができます。

※チャイム音を聞いてから約30秒以内に受話器を取らないと、ドアホン呼出が無効になります。

※ドアホン子機と通話状態になると、ドアホンランプが点灯します。

ご注意

ドアホン通話になってもドアホンランプが点灯しないときは、乾電池の寿命がなくなったときです。すみやかに、乾電池を交換してください。乾電池は4本一緒に交換し、電池ボックスに正しく入れるようにしてください。

- 乾電池の寿命……1回10秒のドアホン通話で1日10回使用した場合、約6ヵ月間です。

通話時の便利な使いかた

話中時着信と話中時着信音量自動低減

通話中の電話機に対してドアホン呼出があったとき、また、ドアホン子機と通話中に電話がかかってきた場合は、着信(呼出)音の音量が自動的に小さくなり、通話の妨げになりません。

④ ドアホン通話中に、外から電話がかかってきたとき

操作 <外からの呼出音>→**通話切替**を1度押してからはなす→<外線と通話ができる>

ドアホン通話中に、外から電話があり、スピーカから呼出音(ブルルル)が聞こえます

① 受話器を持ったままで、通話切替ボタンを1度押してからはなします

外線の相手と通話ができます

ご注意

ドアホン呼出と外からの電話が同時にあった場合、またはドアホン呼出後に外から電話が入ったときは、受話器を取ると外からの電話と通話ができます。

ドアホン通話を行なうとき

ドアホン通話中に、外から電話がかかってきたとき

5 外線通話中、ドアホン呼出があり、外線を一時保留するとき

操作 〈ドアホン子機からの呼出音〉→**通話切替**を押し続ける→〈ドアホン通話ができる〉

外線通話中に、ドアホン子機から呼出があり、スピーカからチャイム音（ピンポン）が聞こえます

① 受話器を持ったままで、通話切替ボタンを押します

押し続けている間、ドアホン子機と通話ができます

- 外線通話は一時保留（お待たせ）の状態になります。（このとき、相手先とこちらでは保留音が鳴りません）

② ドアホン通話が終わりましたら、通話切替ボタンをはなします

保留していた外線と、再び通話ができます

※外に電話をかけるためダイヤルをしている際にドアホン子機から呼出（ピンポン）があり、ドアホン子機に应答するときは、ダイヤル操作をやめ、1度受話器を置いてから再度取り上げると应答できます。




外線通話中、ドアホン呼出があり、外線を一時保留するとき

6 同じ相手に再度電話をかけるとき（リダイヤル機能）

使用できる機種（07-300）（07-330）

相手が話し中や留守で再度かけ直すとき、簡単なボタン操作で再発信ができます。（最後にかけた同じ相手先へ自動的に発信されます）



操作  →  (07-300の場合) →  (07-330の場合)


相手が話し中のときなどは、1度受話器を置き（電話を切り）ます


① 受話器を取ります

- 発信音（ツーン）を確かめます。

（07-300の場合）

（07-330の場合）

② シャープボタンを1度押します

② シャープボタンを2度押します

最後にかけた電話番号が自動的に発信されます

※07-300の場合、最後にダイヤルしたあと約15分間、リダイヤルができます。07-330の場合は、最後にダイヤルしたあと次に電話をかけるまでリダイヤルができます。

ご注意

- 短縮ダイヤルで電話をかけた場合、リダイヤル操作はできません。





同じ相手に再度電話をかけるとき（リダイヤル機能）

短縮ダイヤルで電話をかけるとき 7


使用できる機種(07-330)

▶短縮ダイヤルで電話をかけるとき

長い電話番号も簡単なボタン操作でスピーディにかけられます。なお、記憶できる相手先は2ケタで00～19までの最大20カ所です。(記憶操作については、11～12ページをご覧ください。)

操作  →  →  

① 受話器を取ります

② シャープボタンを押します

③ 相手先の短縮番号(2ケタ)を押します

自動的にダイヤルされ、相手と通話ができます

短縮ダイヤルで電話をかけるとき

7 短縮ダイヤルで電話をかけるとき

短縮ダイヤルで電話をかけるとき

▶短縮ダイヤルに記憶させるとき

(A)記憶させるとき

相手の電話番号を短縮ダイヤルに記憶させる操作が必要です。操作は、必ず、受話器を置いた状態で下記の順にしたがって行なってください。

操作  →  →  →  

例：045-932-1231の電話番号を00の短縮番号に記憶する場合

① アスタリスクボタンを押します

② 記憶させたい相手の電話番号を押します

(例)045-932-1231

③ アスタリスクボタンを押します

④ 記憶させたい短縮番号を押します

(例)00

045-932-1231の電話番号が00の短縮番号に記憶されました。このとき、確認音等が出ませんので間違いのないように一連の操作を連続して行ってください

(B)続けて記憶操作をするとき

「記憶させるとき」の操作[(A)の項①～④]の順に正しく番号を押します。

(C)記憶番号を変更するとき

「記憶させるとき」の操作[(A)の項①～④]の順に新しい(変更すべき)番号を押します。

先に短縮番号に記憶させた番号は自動的に消えます。

短縮ダイヤルで電話をかけるとき 7

▶ 短縮ダイヤルに記憶させるとき

(D) 記憶内容を消すとき

必ず、受話器を置いた状態で次の操作を行なってください。

操作 関 → 田 → 関 → 消したい短縮番号 関 関

例：00の短縮番号に記憶された045-932-1231を消す場合

① アスタリスクボタン 関 を押します

② シャープボタン 田 を押します

③ アスタリスクボタン 関 を押します

④ 消したい内容の短縮番号を押します

(例) 00

00の短縮番号に記憶された045-932-1231の電話番号が消されました。このとき、確認音等が出ませんので間違いのないように一連の操作を連続して行なってください

●記憶操作時、下記のメモ欄に記憶させたい相手の電話番号を書き込んでから操作を行なうと操作ミスが防げます。

短縮番号	相手先電話番号	短縮番号	相手先電話番号
00		10	
01		11	
02		12	
03		13	
04		14	
05		15	
06		16	
07		17	
08		18	
09		19	

短縮ダイヤルで電話をかけるとき

この電話機をPBX(構内自動交換機)の端末にお使いのとき

この電話機をPBX(構内自動交換機)の端末にお使いのとき

(A) 外へ電話をかけるとき

操作 電話機 → 外線発信番号 0 → 田 → 電話番号

① 受話器を取ります

② 外線発信番号(例0)を押します

③ シャープボタン 田 を押します

●発信音(ツーン)を確かめます。

④ 相手の電話番号を押します

(B) リダイヤルで電話をかけるとき

操作 電話機 → 田(07-300の場合) → 田田 → 田(07-330の場合)

① 受話器を取ります

(07-300の場合)

(07-330の場合)

② シャープボタン 田 を1度押します

② シャープボタン 田 を2度押します

●発信音(ツーン)を確かめます。

③ シャープボタン 田 を1度押します

相手先へ自動的にダイヤルされます

この電話機をPBX(構内自動交換機)の端末にお使いのとき **2**

(C)短縮ダイヤルに記憶させるとき

必ず、受話器を置いた状態で次の操作を行なってください。

操作

※ → 外線発信番号 0 → 冂 → 電話番号 → ※ → 短縮番号 88

① アスタリスクボタン(※)を押します

② 外線発信番号(例0)を押します

③ シャープボタン(冂)を押します

④ 記憶させたい相手の電話番号を押します

⑤ アスタリスクボタン(※)を押します

⑥ 記憶させたい短縮番号を押します

(D)短縮ダイヤルで電話をかけるとき

操作 冂 → 冂 → 短縮番号 88 → 冂

① 受話器を取ります

② シャープボタン(冂)を押します

③ 相手先の短縮番号を押します

● 発信音(ツ)を確認めます。

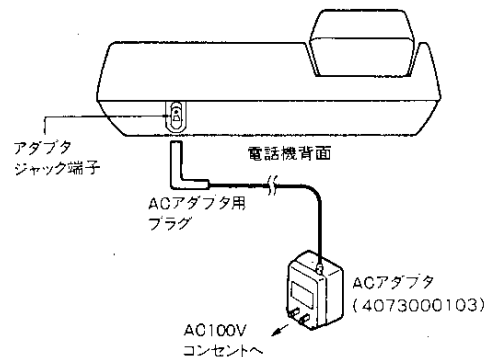
④ シャープボタン(冂)を押します

この電話機をPBX(構内自動交換機)の端末にお使いのとき

■ ドアホン通話にAC100V電源を使うとき

ドアホン呼出・通話用に乾電池のかわりにAC100V電源が使えます。AC100V電源をご使用になるときは別売のACアダプタ(4073000103)をお使いください。

[ACアダプタの使用例]



停電のとき

■ 停電のとき

停電時、外からの電話を受けるとき

電話機のスピーカから呼出音が聞こえます。受話器を取るだけで応答できます。

外へ電話をかけるとき

受話器を取り、発信音(ツ)が聞こえてからダイヤルします。

